

読売新聞 きょう（6月5日）のイチ押し

一面・社会面 堀江さん 太平洋横断成功 最高齢83歳

ヨットで単独無寄港の太平洋横断に挑んでいた海洋冒険家の堀江謙一さん（83）が4日未明、米サンフランシスコから69日間かけて和歌山県・日ノ御崎沖の紀伊水道にゴールし、世界最高齢で偉業を達成しました。

- ★堀江さんが乗る「サントリーマーメイド3号」（全長約5・8メートル）は4日午前2時39分、約8500キロの航程を経て、紀伊水道のゴールラインを通過。電話取材に「いろんな困難があったが運良くゴールできた。今も青春まっただ中の気分です」と話しました。
- ★ヨットは別の船にえい航され、兵庫県西宮市の港に到着。5日に帰港セレモニーが行われます。堀江さんは1962年、23歳で西宮市から94日かけて米サンフランシスコまで単独無寄港の太平洋横断に成功。今回は60年の時を経て、同じ大きさのヨットで逆ルートの横断に成功しました。

社会面 覚醒剤590キログラム密輸未遂 主犯格に逮捕状

熊本県天草市で2019年12月、漁船から覚醒剤約590キロ（末端価格約350億円）が押収された事件があり、主犯格の男について福岡県警などが覚醒剤取締法違反容疑で逮捕状を取ったことが、捜査関係者などへの取材でわかりました。本紙の特ダネです。

財務省関税局によると、押収された覚醒剤約590キロは、1度の押収量としては過去3番目。逮捕状が出たのは、特定抗争指定暴力団山口組（神戸市）系の元組員。19年末、台湾人や日本人と共謀し、東シナ海の公海上で船籍不詳の船が積んだ覚醒剤を共犯者が乗る船に積み替える「瀬取り」をし、天草市から陸揚げして密輸しようとした疑いが持たれています。

他紙と比べて

個人を装って、中国政府寄りの主張を英語などで不正に拡散させていたとして昨年、米国のツイッター社が凍結したアカウントから、日本語で発信されていたものがあることが、わかりました。中国による新疆ウイグル自治区の少数民族弾圧を「デマ」だとする内容で、読売新聞が確認しました。ツイッター社は、この問題を巡って組織的な情報工作を指摘しており、日本が標的になっていることがうかがえます。特ダネを2社面に掲載しました。本紙は、ネット空間で増大している諸問題を追求する報道に力を入れています。